

7/14 (株)コアラインと町がドローン運用に関する協定を締結 災害時の迅速な初動対応に協力

無人航空機ドローンの教習や点検整備などを行う(株)コアライン(本社八戸市：加藤正行社長)と三戸町は、災害時等における無人航空機による支援協力に関する協定を結び、締結書を取り交わしました。今回の協定は、災害時において、(株)コアラインが保有する大型の無人航空機やモニターなどで災害時の情報収集活動が行えるよう備えるほか、平時においては、無人航空機の資格を有する町職員の技術指導や運用に必要な許可申請手続きなどで協働するものです。

松尾町長は「町では毎年のように水災害が発生している。協定を災害発生時の迅速な状況把握と的確な判断につなげていきたい」と話しました。加藤社長は「災害時は、映像確認や救援物資などの状況に応じた対応が重要。また、1分1秒でも早い遭難者などの救助活動にも協力していきたい」と話しました。



(左から) 加藤社長、松尾町長

7/15 弘前大学と町が包括連携協定を締結 活気あふれるまちづくりを目指して

弘前大学(福田眞作^{しんさく}学長)と三戸町は、連携協力に関する協定を結び、締結書を取り交わしました。この協定は、地域の課題に適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に資するため、産業・文化の振興や、健康・医療・福祉、教育など数多くの分野で



(左から) 松尾町長、福田学長

連携・協力するものです。

松尾町長は「活気あふれる住みよいまちづくりを進めていきたい」と意欲を見せました。福田学長は「さまざまな面で町のお手伝いをしていきたい」と述べました。

7/29 商工会女性部員が町長に活動を報告

青森県を代表し、主張発表大会に出場

三戸町商工会女性部(松井和子^{ひかり}部長)部員の足澤光里さんは、三八地区商工会女性部の代表として出場した「青森県商工会女性部連合会主張発表大会」で最優秀賞(知事表彰)を受賞したことで、青森県商工会女性部の代表として出場した「東北六県・北海道商工会女性部連合会主張発表大会」で優秀賞を受賞したことを松尾和彦町長に報告するため、役場を訪れました。

各大会において足澤さんは「青年部・女性部合同美化運動に参加して」というテーマで、昨年行った城山公園美化運動の企画から運営まで携わった経験や感動について発表を行いました。

報告を受けた松尾町長は「商工会女性部が結束することで、より地域を盛り上げてほしい」と話しました。足澤さんは「女性部の皆さんに協力していただき、良い結果を残すことができました。これからも女性部の活動を多くの人たちに広めて、地域を盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。



(左から) 松尾町長、足澤さん、松井部長、工藤副部長

7/19 斗川小で「租税教室」

税金の大切さについて学ぶ

小中一貫三戸学園斗川小学校（小田桐幸春校長）で、6年生7人を対象に租税教室が行われました。

児童たちは、役場税務課職員の説明やDVDなどで、税金の種類や使い道などについて楽しく学びました。

前田結妃さんは「税金は身近なところでたくさん使われていることを知って、興味を持ちました。自分でも、税金について勉強したいです」と感想を述べました。



1億円のレプリカを持ち上げる子どもたち



牧之原市市民ファシリテーターとオンラインで話し合う皆さん

7/31 三戸町まちづくり人財塾（第1回講座）

話し合いの手法を学ぶ

三戸町保健センター集団指導室で、ファシリテーターを養成する三戸町まちづくり人財塾が行われました。講座には18人が参加。早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員の佐藤淳さんと、牧之原市市民ファシリテーターの皆さん（オンライン参加）を講師に迎え、参加者は牧之原市の市民ファシリテーターの活動について学びました。

参加した浅水優人さん（三戸高2年）は「自分の意見から、話し合いの内容が広がっていく楽しさを感じることができました。多くの人たちと地域の課題や改善策について話し合う機会ができて良かった」と話しました。

8/3 柔道の東北大会に出場

強気で挑み、勝ち進みたい

小中一貫三戸学園三戸中学校8年の徳田弥那さんは、7月に行われた第72回青森県中学校体育大会の柔道競技女子63キログラム級で第2位に輝き、東北大会出場を決めました。徳田さんは、東北大会前に役場を訪れ「不安な気持ちもあるけれど、強気で挑んで勝ち進みたいです」と松尾和彦町長に意気込みを語りました。松尾町長は「高い目標を持つことが大事。体調に気をつけ、気力で負けずに頑張ってきてください」と激励の言葉を述べました。



賞状を掲げる徳田さん



松尾町長に花を渡す園児たち

8/5 いずみ幼稚園が花を寄贈

彩り豊かな花に癒やされる

いずみ幼稚園（小野正志園長）は、園児たちが育てた花を寄贈するために役場を訪れました。今回寄贈した花は、園児たちの思い出になれば嬉しいという思いから、第一生命保険(株)青森支社三戸営業オフィス（池田亮方機関長）が提供したものです。プランターには、花を育てる園児たちの写真が添えられています。園児たちは「みんなで心を込めて育てました」と笑顔で松尾和彦町長に花を手渡しました。松尾町長は「皆さんの気持ちを受け取りました。ありがとう。多くの人たちに見てもらえるよう飾ります」と話し、花を受け取りました。